



# ヘルスケア事業(HCB)の 事業戦略

2018年1月30日  
オムロン株式会社

## ヘルスケア事業(HCB) の位置づけ

注力4ドメインの中でも、FAとともに特に注力するドメイン。

### FA



### ヘルスケア



### モビリティ



### エネルギー管理



## ヘルスケア事業(HCB)のミッション

**地球上の一人ひとりの健康で  
すこやかな生活への貢献**

**All for Healthcare**

## ヘルスケア領域の社会的課題

**先進国および新興国での社会変化に伴う新たな課題の出現により、医療費増大が深刻化する。**

社会変化



先進国に加え、  
新興国でも中間層が増加



先進国での高齢化の進展

新たな課題



生活習慣病患者の増加



寿命と健康寿命のギャップが拡大

社会的課題



医療費の増大

## ヘルスケア事業(HCB) がフォーカスする3領域

強みを最大限に活かすことができ、グローバルにおいて十分な市場規模がある  
3領域でパーソナライズ医療の実現による社会的課題の解決を目指す。

## 循環器疾患

<sup>\*1</sup>  
脳・心血管イベント患者

1,750 万人

<sup>\*4</sup>  
循環器疾患医療費

120 兆円

## 呼吸器疾患

<sup>\*2</sup>  
世界の呼吸器疾患患者

4.4 億人

<sup>\*5</sup>  
日米欧 呼吸器疾患医療費

19 兆円

## ペインマネジメント

<sup>\*3</sup>  
日米 慢性疼痛患者数

7,300 万人

<sup>\*6</sup>  
日米 鎮痛剤市場

2.4 兆円

\*1 WHO報告より \*2 International Respiratory Societies報告より \*3 Pain in Japan (日本)、National Health Interview (米国) より

\*4 世界銀行並びにOECDのデータを基に推計 \*5 厚生省公表データ、欧州呼吸器学会データ、Creative Biotech Inc調査を基に推計

\*6 世界鎮痛剤市場調査2013より

## ヘルスケア事業(HCB)の基本戦略


### 3つのコアカテゴリーの最強化

血圧計


ネブライザ

ペインマネジメント

「脳・心血管疾患の発症ゼロ(ゼロイベント)」  
への取り組み



# 3つの コアカテゴリの 最強化



## 3つのコアカテゴリーの最強化

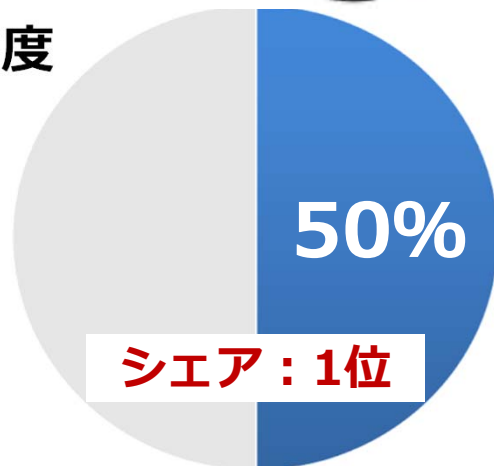
3つのコアカテゴリーにおいて、圧倒的シェアNO.1を目指す。

## 【循環器】

家庭用血圧計



2016年度  
実績



2020年度  
目標

55%以上

## 【呼吸器】

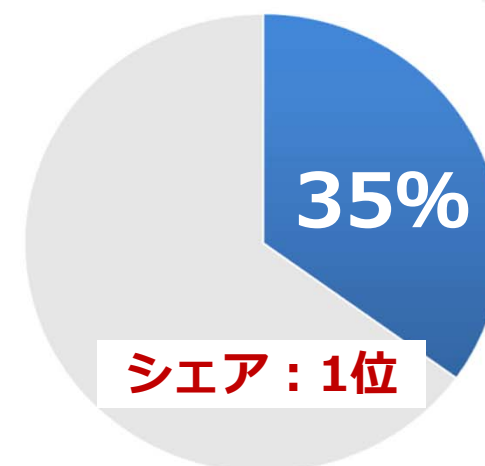
ネブライザ



40%以上

## 【ペインマネジメント】

低周波治療器



45%以上

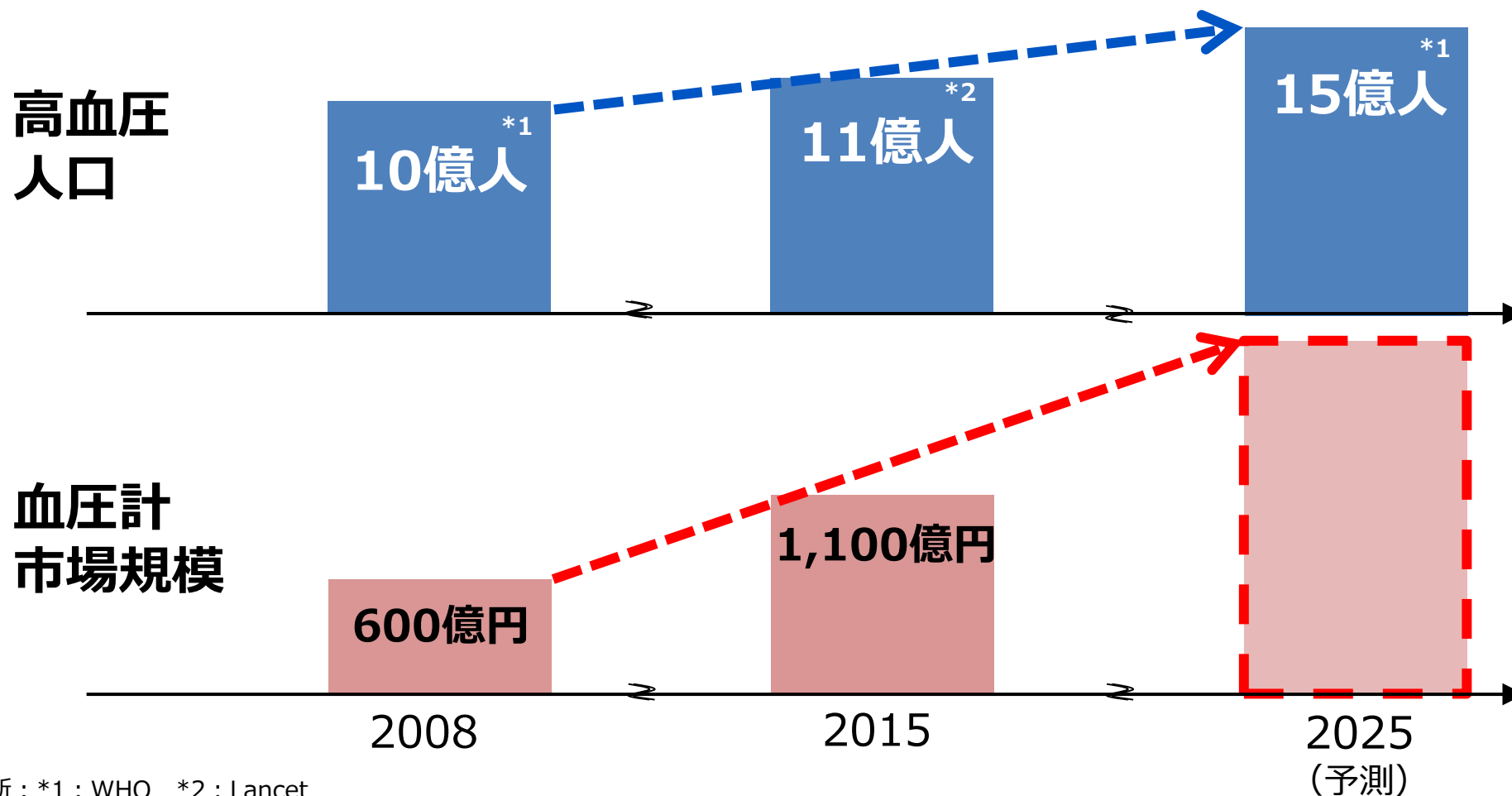
出所：GFK、ニールセンデータ等、各国の外部調査結果をベースに自社推計

\*血圧計・ネブライザは世界シェア、低周波治療器は日本・米国の合算シェア（金額ベース）



## 拡大が見込まれる血圧計市場

世界の高血圧人口は年々増加。2025年には15億人にまで増えるとも言われている。加えて、健康意識の高まりにより血圧計の市場規模はさらに高い伸び率が見込まれる。



出所：\*1：WHO \*2：Lancet

## 強み

医療機器であるため事業展開には様々な要件が求められる。  
血圧計事業を40年以上展開することで獲得した以下の3つが強み。

- ① 許認可取得ノウハウ（＝参入障壁）
- ② 高い精度に基づく医学界からの信頼
- ③ チャネル基盤

## 強み① 許認可取得ノウハウ（参入障壁）

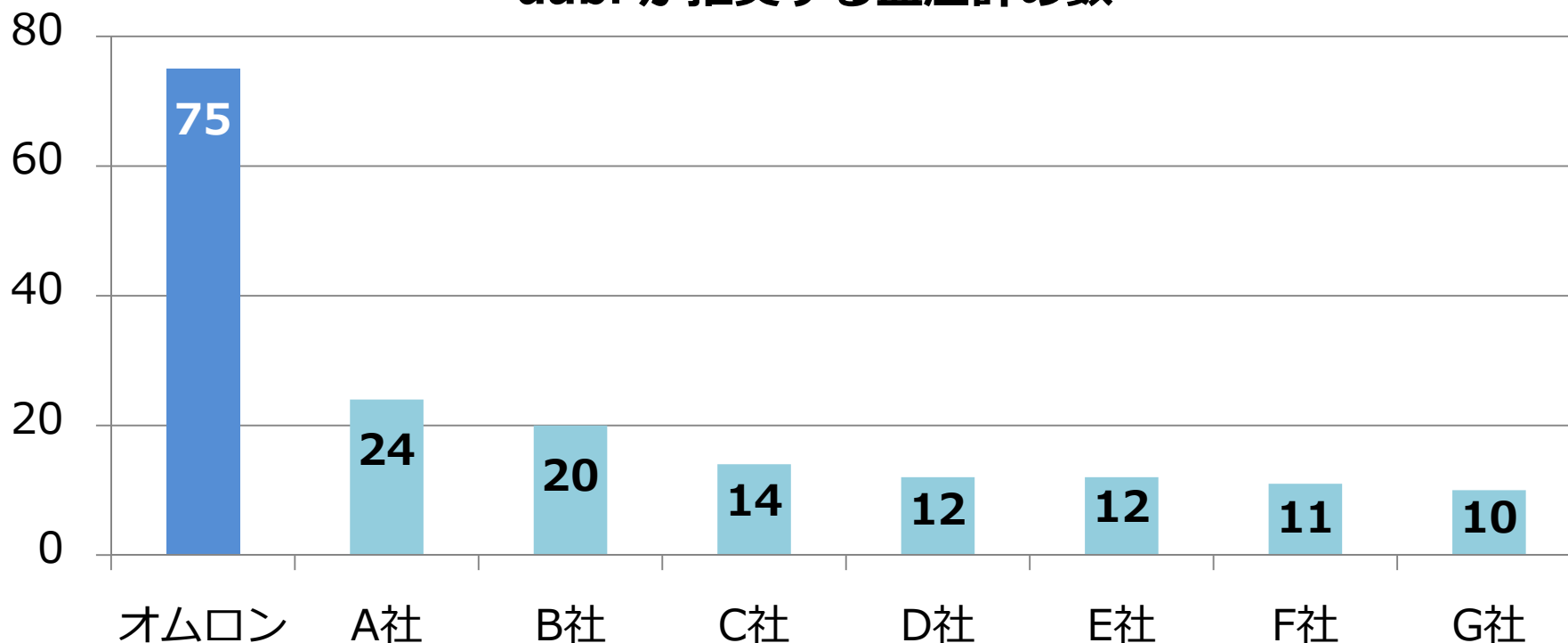
グローバル 117カ国に販売。うち 90カ国で許認可取得が必要。  
各国から要求される安全性と有効性を満たし、血圧計を世界中で販売。



## 強み② 高い精度に基づく医学界からの信頼

オムロンの血圧計は多くの論文で高い精度が認められており、医師が血圧計を選択する際に参考にする第三者機関 dabl から最も多くの推奨を獲得している。

### dabl が推奨する血圧計の数



検索条件：dabl Educational Trust より、Upper Arm Devices & Wrist Devices for Self -measurement of Blood Pressure  
検索日：2016年3月 その他：5件以上登録のあるメーカーのみ表示  
自社調べ

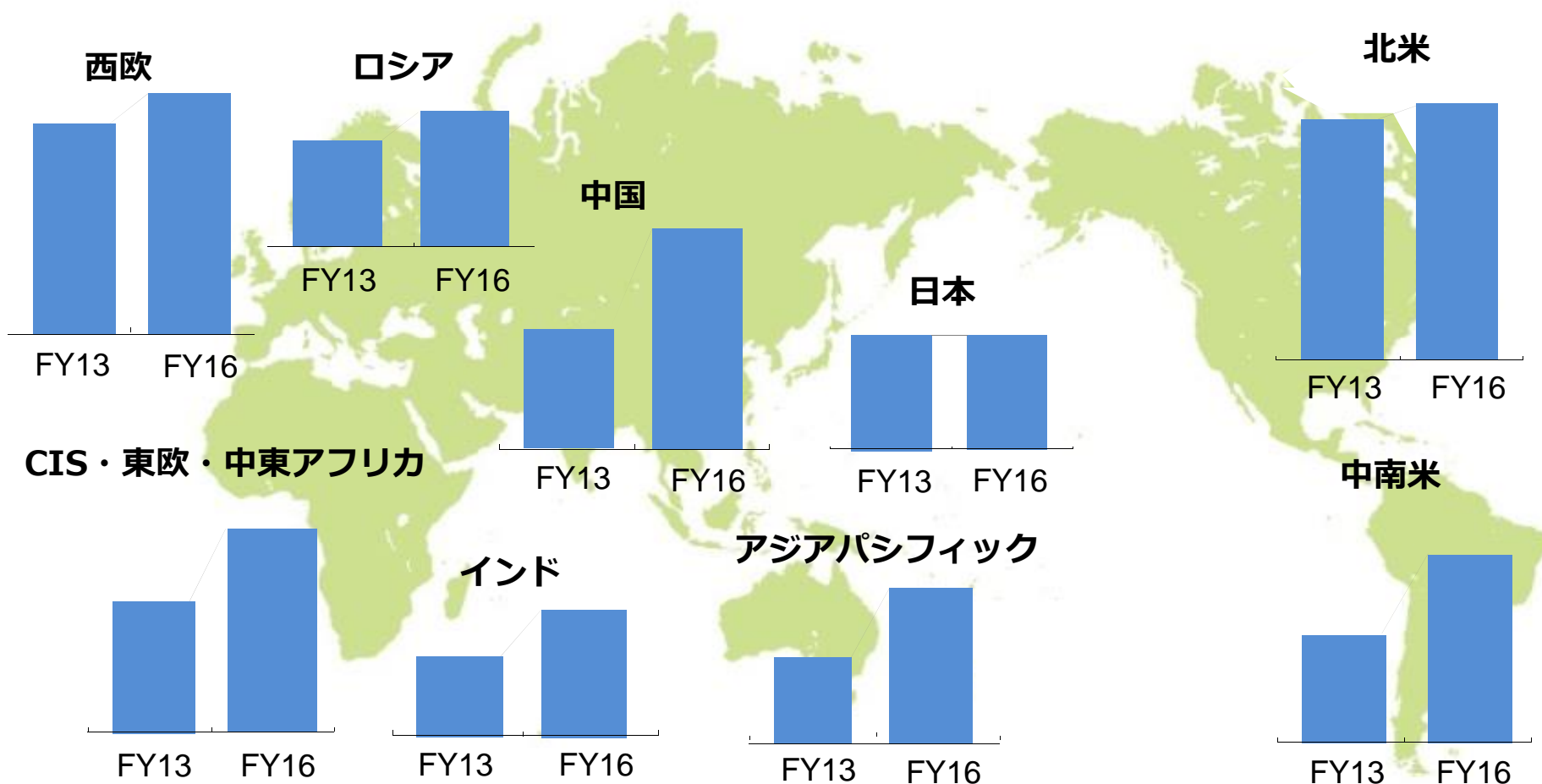
## 強み② 高い精度に基づく医学界からの信頼

オムロンの血圧計は、WHOの家庭血圧基準決定の基となった大迫研究をはじめ、世界中の大規模臨床研究で使われている。



### 強み③ チャネル基盤（薬局・薬店における取扱い店舗の拡大）

新興国エリアを中心に取り扱い店舗をさらに拡大。  
(FY13 36万店 → FY16 46万店)



強み③ チャネル基盤（拡大するオンラインにも対応）

大手ECサイト アマゾンの血圧計人気商品ランキングで上位を占有。

(2018年1月19日 現在)

Amazon.co.jp

上腕式血圧計の売れ筋ランキング

Amazon.co.jpの売れ筋ランキング。ランキングは1時間ごとに更新されます。


<p>1. オムロン 電子血圧計 上腕式 腕帯巻きタイプ HEM-7123</p> <p><b>オムロン</b></p> <p>★★★★☆ 157</p>	<p>6. オムロン 上腕式血圧計 HEM-9713</p> <p>★★★★☆ 40</p>
<p>2. オムロン デジタル自動血圧計 HEM-7111</p> <p>★★★★☆ 162</p>	<p>7. オムロン 電子血圧計 上腕式 OMRON connect対応 HEM-7282T</p> <p>★★★★☆ 55</p>
<p>3. オムロン 電子血圧計 上腕式 腕帯巻きタイプ HEM-7123</p> <p>★★★★☆ 49</p>	<p>8. 他社商品</p>
<p>4. オムロン デジタル自動血圧計 HEM-1021</p> <p>★★★★☆ 60</p>	<p>9. 他社商品</p>
<p>5. オムロン 電子血圧計 上腕式 腕帯巻きタイプ HEM-7200</p> <p>★★★★☆ 322</p>	<p>10. オムロン 上腕式血圧計 HEM-7131</p> <p>★★★★☆ 151</p>

Amazon.com

<p>Best Sellers in Blood Pressure Monitors</p> <p>1. Omron BP742N 5 Series Upper Arm...</p> <p>★★★★☆ 5,157</p>	<p>2. 他社商品</p>	<p>3. Omron 10 Series Wireless Bluetooth...</p> <p>★★★★☆ 7,056</p>
<p>4. 付属品</p>	<p>5. 他社商品</p>	<p>6. Omron 3 Series Upper Arm Blood Pressure...</p> <p>★★★★☆ 1,900</p>
<p>7. Omron 10 Series Upper Arm Blood...</p> <p>★★★★☆ 1,995</p>	<p>8. Omron 7 Series Wrist Blood Pressure...</p> <p>★★★★☆ 10,882</p>	<p>9. 他社商品</p>
<p>10. 他社商品</p>		

売れ筋トップ10に8商品ランクイン

売れ筋トップ10に5商品ランクイン



# 脳・心血管疾患の 発症ゼロ (ゼロイベント)



## 循環器疾患領域における事業ビジョン



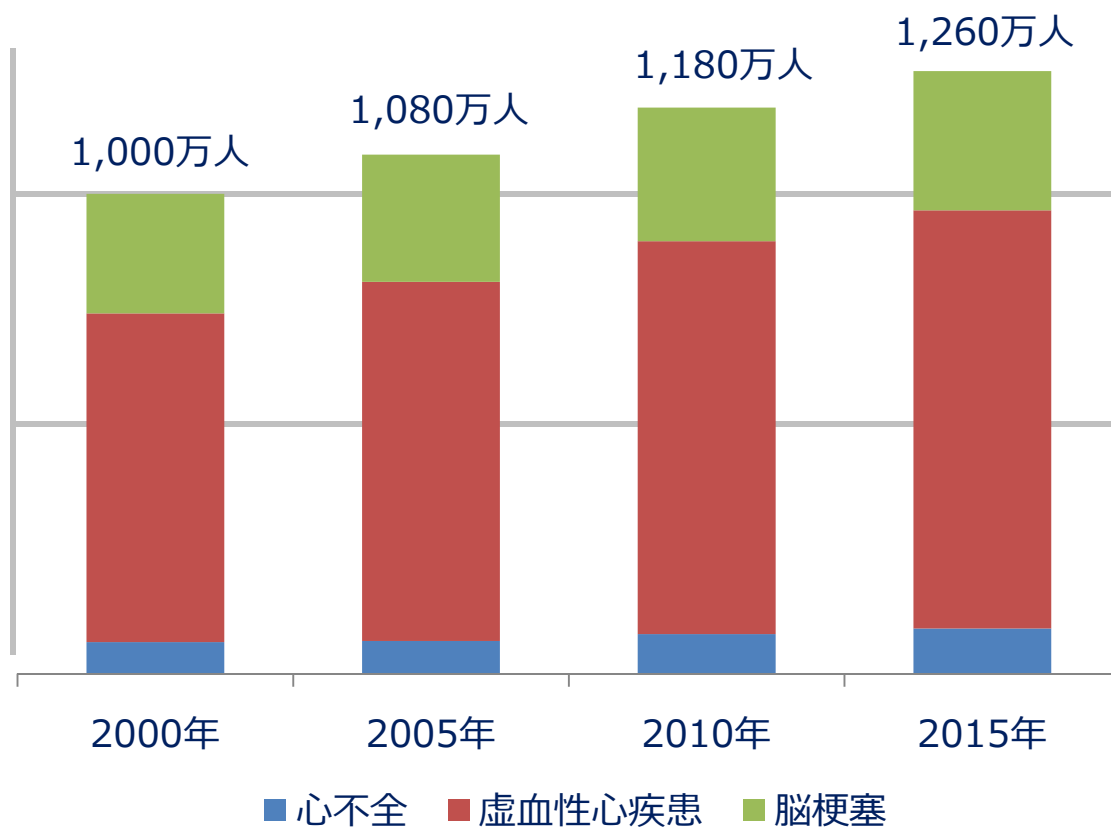
オムロンヘルスケアは『**ゼロイベント**』を目指します。

『**ゼロイベント**』とは、**脳卒中や心筋梗塞**など、**高血圧が原因**で起こる、**生死につながり寝たきり**などの**原因となる疾患（イベント）**を、**ゼロ**にすること。

## 脳・心血管疾患の死亡者数の推移

脳・心血管疾患による死亡者数は増加し続けている。

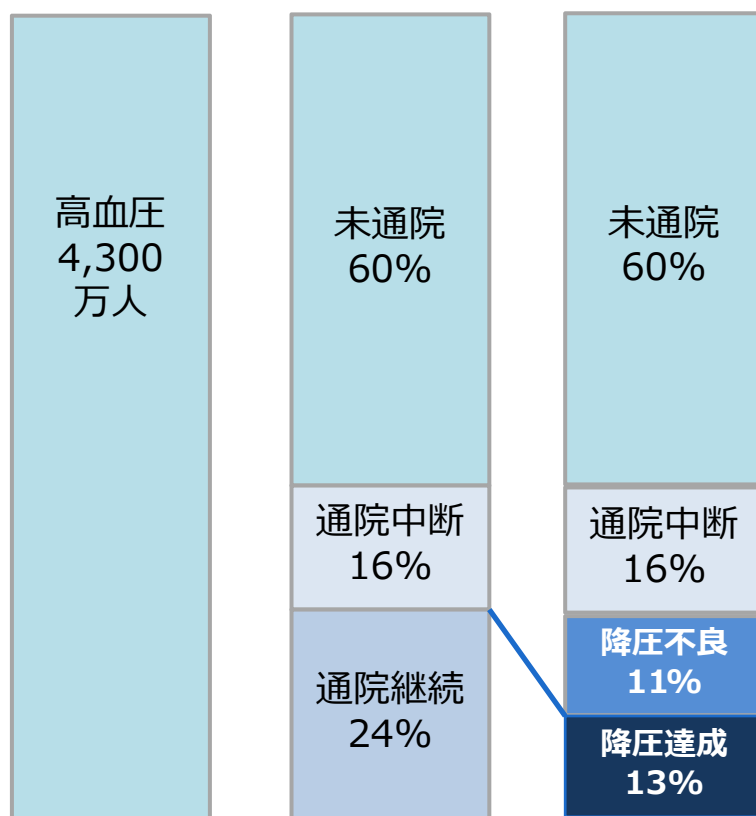
脳・心血管イベントによる死者数(グローバル)\*1



\*1:WHO Global Health Estimates2015

## 高血圧治療における課題（日本の事例）

脳・心血管疾患の主な原因である高血圧症患者の降圧達成率は、13%に留まる。  
今後、降圧達成率を向上させるには、  
**(1) 患者の行動変容支援、(2) パーソナライズされた診断/治療が必要。**

**行動変容**

「通院する」「服薬する」「継続する」

**パーソナライズされた診断/治療**

出所：NPO高血圧改善フォーラム

**\* 服薬患者の半数しか降圧できていない**

## ヘルスケア事業(HCB)が目指す高血圧治療の革新

革新的なデバイスで血圧計測のハードルを下げるとともに様々なバイタルデータの取得を可能にする。さらに、取得したバイタルデータを蓄積、解析することで、高血圧治療を革新し得る診断・治療サービスを提供し、ゼロイベントを実現する。

## 革新的デバイスの提供

血圧  
活動  
睡眠  
心電図



患者

・行動変容支援  
・パーソナライズ医療

## 診断・治療支援サービス



医師

データ蓄積・解析



## 高血圧治療を次のステージへ導く第一歩（AliveCor社との協創）

新デバイスにより取得できる生体・行動情報データを拡大し、心疾患の診断と治療の高度化により、ゼロイベントを実現させる。

### AliveCor社の強み

- ・モバイル心電計(FDA認可)  
心房細動の確定診断が可能



- ・心疾患専門医および患者向  
サービスプラットフォーム



### オムロンの強み

- ・デバイス開発力

本体・カフー体型  
チューブレス血圧計  
(17年3月発売)



新デバイス  
(例)

ウェアラブル血圧計  
(米国で18年中発売  
に向け開発中)



- ・アルゴリズム開発力
  - 診断アルゴリズム
  - 最適投薬アルゴリズム

### 協創する内容

- ・心電+血圧計の開発  
(FDA認可予定)

新デバイス  
(例)



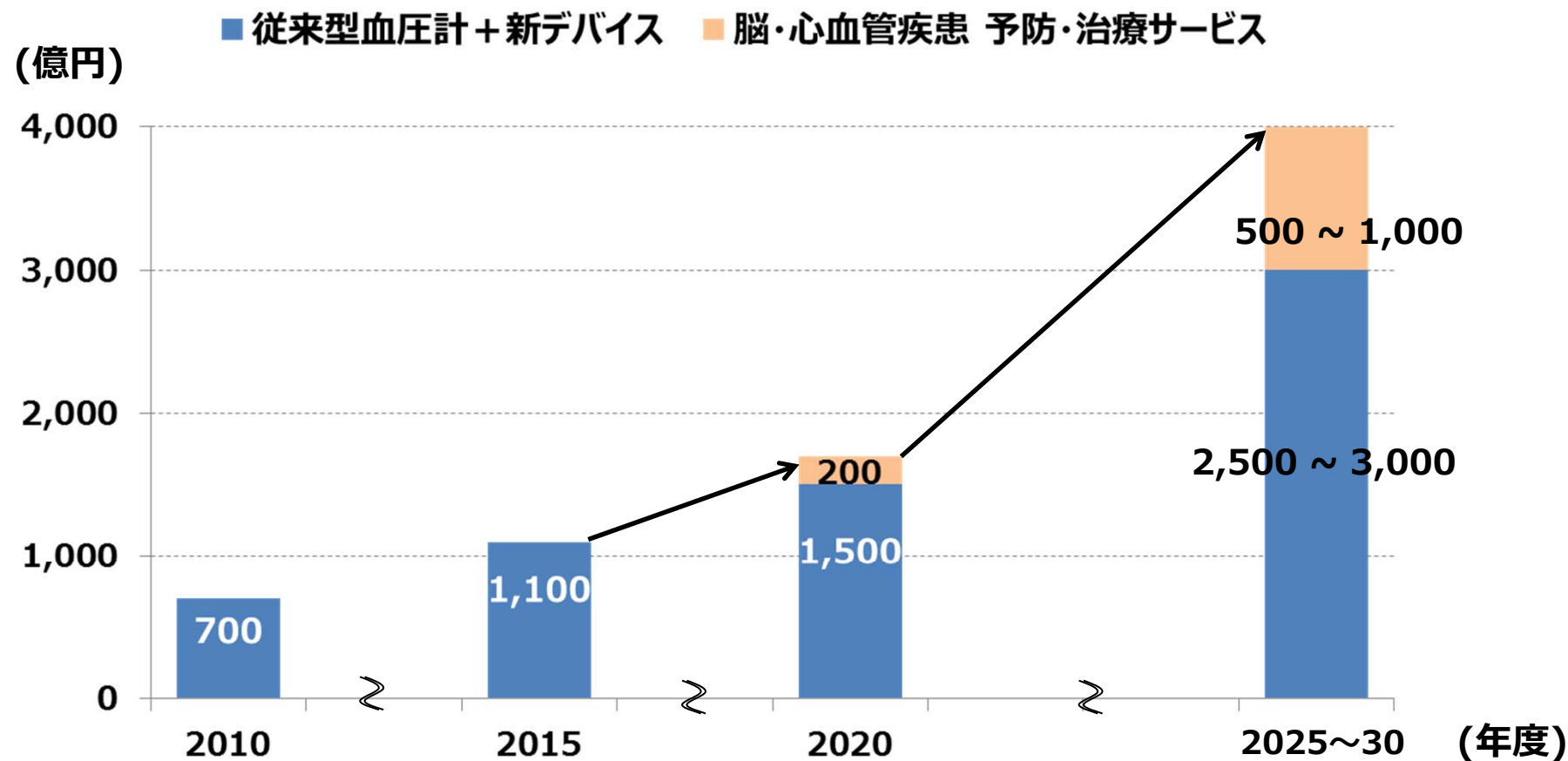
- ・心電+血圧データを用いた  
サービスプラットフォーム開発  
(FDA認可予定)

新サービス



## 血圧関連事業のポテンシャルマーケット

高血圧患者の増加、パーソナライズ医療に向けた測定機器の高機能化、サービス市場の立ち上がりにより、血圧関連事業のポテンシャルマーケットは拡大。



\*自社推計

## ヘルスケア事業(HCB) 2020年度目標

3つのコアカテゴリー最強化とともに、ゼロイベントの取り組みを加速し、2020年度まで年間伸び率 10%の成長を実現する。

